

愛知県生涯学習推進センター情報誌

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

編集・発行/愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号(愛知県東大手庁舎2階) TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



INDEX[目次]

特集「愛知万博に行こう!!」	1
講座・講習会、イベント情報	5
ネットワーク機関紹介	12
ボランティア活動紹介	13
いんたびゅー	16
公民館活動紹介	17
生涯学習推進センターより	18

楽しさいっぱい 小坂井町の寺子屋教室

小坂井町の「寺子屋教室」は、平成14年度からの学校週5日制に伴う地域での受け皿と同時に、現在の子どもたちを取り巻く環境をより良いものにしたい、そのために大人として今後どうすれば良いのかを、家庭・地域が一体となって考える機会となることを願い開設しています。単なる受け皿(託児所)とならないように配慮しながら、講師には地域の「まちの先生」70名にお願いし、23教室に359名の子どもたちが楽しく学んでいます。

2005年3月25日 愛知万博が開幕しました！

21世紀最初の総合的な国際博覧会が、大阪万博以来35年の時を経て、愛知県で開催されます。「自然の叡智」というテーマの下、持続可能な社会システムの創造や自然と調和したライフスタイルの提案など、地球と人類の輝かしい明日につながる試みが繰り広げられます。120を超える国や国際機関、日本政府、自治体や市町村、また民間企業や多数の市民の参加を得て、個性溢れる展示・催事が繰り広げられています。

また、本博覧会は会場作りにも特色があります。会場は長久手会場と瀬戸会場であります。両会場ともに自然の地形を生かした会場となっています。長久手会場は、会場内の高低差が40メートルありますが、この高低差を解消し、来場者の皆様に快適に博覧会を楽しんでいただくために考えられた工夫が空中回廊「グローバル・ループ」です。長久手会場内にひょうたん型にめぐらされた全長2.6キロメートル、幅21メートルのループは、バリアフリーな回廊で、このループを一周することで、ミニ世界旅行を楽しむことができます。

さらに、環境に配慮した取組として、会場建設にあたっては、環境アセスメントを実施するとともに3R（リデュース、リユース、リサイクル）をめざした建設・会場運営を行っています。また、太陽光発電や燃料電池等を組み合わせた新エネルギー需給システムの導入といった新たな試みも行われます。



<会場イメージ>

愛知万博の概要

名称 正式名称：2005年日本国際博覧会
略称：愛知万博（EXPO 2005 AICHI, JAPAN）
愛称：愛・地球博（EXPO 2005 AICHI, JAPAN）
テーマ「自然の叡智（Nature's Wisdom）」
<サブテーマ>
宇宙、生命と情報（Nature's Matrix）
人生の“わざ”と智恵（Art of Life）
循環型社会（Development for Eco-Communities）
開催期間 2005年3月25日～2005年9月25日（185日間）
開催場所 名古屋東部丘陵（長久手町・豊田市、瀬戸市）
* 名古屋市中心から東へ約20km

マスコットキャラクター



見どころいっぱい！愛知県館

< 世界から愛知へ そして、愛知から世界へ >

愛知県は、長久手、瀬戸の両会場にパビリオンを出展しています。いずれのパビリオンも魅力あふれる仕掛けが満載です。

長久手愛知県館（長久手会場）

展示テーマ：「環業革命への力」～環境問題解決への新産業設計図～



愛知が誇る伝統の技と先端技術を表現します。まずは、壮大に動くウェルカムモニュメント「踊る指南鉄塔」が皆様をお迎えします。また、パビリオン内では、からくり的演出を使い、地球環境問題や未来社会への展望をダイナミックに楽しく体感できるライブ

ステージショー“驚きと感動！空前のメッセージパフォーマンス”「地球タイヘン大講演会」などを展開します。さらには、催事エリアの「あいち・おまつり広場」では、県内各地域のお祭りや伝統芸能などパワフルなイベントも盛りだくさんです。



< 踊る指南鉄塔 >

宇宙ステーションに使われる技術を、地上で初めて実現させて動くモニュメントです。中央には、九代目玉屋庄兵衛氏の創作からくり人形「唐子指南車（からこしなんしゃ）」を展示します。



< 驚きと感動！空前のメッセージパフォーマンス >

環境問題を憂う、地球愛一筋半世紀の老博士「江古野守博士」と氷河から現れた5300年前の人類「アイスマン」、そして美しい妖精とが、変転する舞台空間と身体を駆使したパフォーマンスを繰り広げるライブステージショーです。演出は、日本を代表する歌舞伎俳優・市川猿之助のスーパー歌舞伎を支える劇作家・横内謙介氏です。



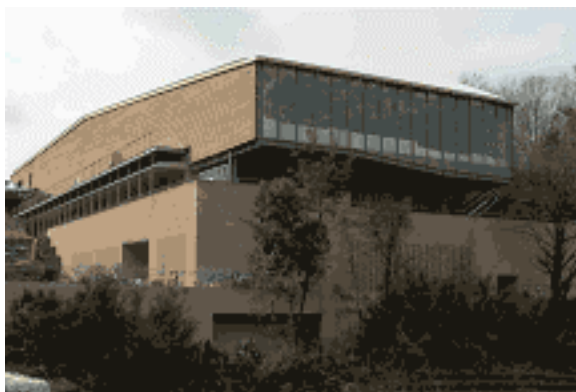
< あいち・おまつり広場 >

「あいち・おまつり広場」では、一般公募に応じた県民の団体やグループが、日頃の芸術・文化活動の成果を披露する「県民参加催事」を開催するほか、県内市町村が地域の祭り

伝統芸能、特産品等を紹介する「市町村催事」、愛知県と海外友好提携を結ぶ中国の江蘇省とオーストラリアのビクトリア州による「海外友好提携自治体催事」、県が主催する「県企画催事」を日替わりで185日間、毎日展開します。

瀬戸愛知県館（瀬戸会場）

展示テーマ：「森の鼓動と呼吸」～かつてない自然発見の場～



不思議な虫の世界や移ろいゆく森の表情、今まで聞いたこともない森の音がドラマチックに包み込むシアター空間「森の劇場」。未だかつて見たことのない、呼吸し波打つ大きな繭の内部に光と音が感応する神秘的な世界が広がり、約100年前に絶滅したニホンオオカミをはじめ愛知県の絶滅ほ乳類3体の剥製が佇むミュージアム空間「森の繭」。また、これらをつなぐギャラリー空間「森の回廊」では、県内の小中学生の作

った昆虫などの小さな生きものの工作約1万点を展示するなど、多様な生命の不思議なつながり、人・暮らしと森の豊かな響き合いのなかから新鮮な驚きと感動、楽しさを発見する森のパビリオンです。



森の劇場



森の繭



森の回廊

また、瀬戸会場内のコラボレーション空間は、エコ・コミュニティづくりに取り組む県民の姿を多彩なプログラムにより紹介する“県民が主役の空間”です。



「愛知グリーンマップ2005」「あいち環境絵本」「愛知自然と暮らしの暦」「エコの知恵袋」「愛知エコ・コミュニティ活動紹介」の5つのプロジェクトが、来館者にエコ・コミュニティづくりの重要性と自らが実践する意識を感じていただけるよう、わかりやすく親しみやすい展示・催事で展開しています。

コラボレーション空間

愛知県では県パビリオンを出展するほか、次のような事業を行っています。

一市町村一国フレンドシップ事業

県内の73市町村が愛知万博に参加する国と交流する、そんな楽しい事業です。それぞれの市町村が参加国のホームシティ、ホームタウンとなって、その国の愛知万博でのイベントなどを応援します。組み合わせについては愛知県国際博推進局のホームページをご覧ください。

愛知万博 地域連携プロジェクト

博覧会の盛り上げや博覧会を契機とした地域の発展のために県内の73市町村と地域の皆さんが力を合わせ、愛知万博に関わる様々な事業や催事を展開するプロジェクトです。

【会場への交通アクセス】ご来場は公共交通機関をご利用ください。

鉄道・バスでご来場の方々へ

JR名古屋駅から万博八草駅まで直通列車「エキスポシャトル」運行! 名古屋駅から乗り換えなしでとっても便利!

名古屋駅から万博八草駅まで毎日、直通列車（最速38分）を運行してるよ。乗り換えなしのとっても便利な「エキスポシャトル」で来てね!

※中部国際空港からは、金山駅を経由しJR中央本線が便利です。または、名古屋駅からのシャトルバスをご利用下さい。

豊橋方面からは岡崎駅乗り換えて万博八草駅へ

長久手会場へは、リニモとシャトルバスを運行 また、瀬戸会場へは、シャトルバスを運行 ※土曜日に運行

名古屋本線からの乗り換えは「西崎公園前駅」から「愛知環状鉄道」へ

豊橋方面からは岡崎駅乗り換えて万博八草駅へ

運賃・所要時間

JR名古屋駅をご利用の場合 ①

名古屋駅	JR中央本線～愛知環状鉄道 直通エキスポシャトル（最速）38分	万博八草駅	リニモ 3分	万博会場
------	------------------------------------	-------	--------	------

地下鉄名古屋駅をご利用の場合 ②

名古屋駅	東山線 290円/25分	藤が丘駅	リニモ 340円/12分	万博会場
------	--------------	------	--------------	------

岡崎駅をご利用の場合 ③

岡崎駅	愛知環状鉄道 640円/47分	万博八草駅	リニモ 160円/3分	万博会場
-----	-----------------	-------	-------------	------

駅シャトルバス

名古屋駅	1,000円/35分	長久手会場	500円/18分	尾張瀬戸駅
			700円/23分	黒田駅

EXPO直行バス 豊橋市、一宮市、犬山市、岡崎市、蒲郡市から運行（予定）

注）鉄道、駅シャトルバスの所要時間は平常時のものであり、交通状況によって異なりますのでご了承ください。

① JR各駅（岡崎・高蔵寺駅を除く）から「愛知万博往復きっぷ」が発売されます。（例）JR名古屋市内各駅からリニモ万博会場駅まで1,300円
この往復きっぷ利用者に限り、キッコロ・ゴンドラが大人200円引き、小人・障害者100円引きまで何度でも乗車できます。
② 土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆、開幕前（9月）は、「藤が丘駅」での乗り換えに相当の時間お待ちいただくことが予想されます。

【入場券について】

	大人 (18～64歳)	中人 (12～17歳)	小人 (4～11歳)	シニア (65歳～)	備考
当日券	4,600円	2,500円	1,500円	3,700円	*****
特別割引入場券	2,300円	1,300円	800円	1,900円	身体障害者手帳等をお持ちの方及び常時介護を必要とする場合の介護者（1名）の方
全期間入場券	17,500円	9,500円	5,700円	14,100円	〔利用者本人の 写真添付〕
夜間割引入場券	2,300円	1,300円	800円	1,900円	午後5時以降の入場に限りです。
平日回数割引	16,400円	9,200円	5,600円	13,200円	ただし土・日・祝日・休日及び振替休日には使えません。
平日家族割引	5,500円（大人1名+小人1名） 9,600円（大人2名+小人1名）				左記区分 券で発売。ただし土・日・祝日・休日及び振替休日には使えません。

各券の利用条件・適用範囲および詳しい販売箇所等につきましては、愛・地球博公式サイトをご覧ください。

万博に関する情報およびお問い合わせはこちらへ

愛・地球博公式サイト <http://www.expo2005.or.jp>

愛・地球博コールセンター 電話：052-955-2005

私達の PC グループ 『楽しいパソコン』のご紹介



生い立ち

平成14年2月瑞穂区役所のIT講習に参加した有志が、講師の中島先生を中心に名古屋・栄の岡谷 NET WALKER で学習を継続。4年目を迎えた現在は15名ほどが PC を生き甲斐に、メンバーを生涯の友として和気藹々の学習を行っています。

学習活動

週1日、ワード・エクセル・メール・ホームページ・デジカメ・エレメンツによる画像処理・パワーポイントなどを学習しています。昨年2月までにはメンバーが各自のホームページを立ち上げました。また7月からは県・生涯学習センターにも勉強の場を広げて参りました。

イベントに参加

これまでの学習の最大の成果は、昨年11月の「イベントの日」にパソコンの「年賀状作成講座」を成功させたことです。当日までの1ヶ月間、一つの目標に向かって一致協力して頑張ったことが、今では懐かしく一生忘れられない思い出となっています。また参加費・資料代等を新潟地震に寄贈しました。

課外学習

昨年は、新年会に始まり、3月、5月にはデジカメ撮影会で、^{そらり}佐布里池(知多市)の梅林と、デンパーク(安城市)を訪れ、4月には山崎川の桜見物に出かけ、6月には当メンバーの小出さんのお宅で「ぞうれっしゃがやってきた」のアニメ鑑賞会などを催しました。今年も近郊の楽しい日帰りの旅を計画しています。

代表者： 佐藤 節次

連絡先： 自宅

電話： 052-831-5633

Mail： namig_stjaki310@ybb.ne.jp

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。
詳しくは愛知県生涯学習推進センター（電話 052-961-5333）にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

「学びネットあいち」からのお知らせ

「ピックアップ」(特集ページ)ができました！

「学びネットあいち」では平成17年1月より毎回のテーマにそった推奨サイトを選びホームページ上で紹介する「ピックアップ」というコーナーを開設しました。「学びネットあいち」に登録されている講座やイベント情報、学習コンテンツはもちろん、外部サイトも紹介しています。

いろんなサイトがあり、新たな発見ができるかもしれません。

是非一度アクセスしてみてください！



<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/pickout/index.html>

ボランティア活動紹介

今回は新城設楽地区特集です。

国際交流は人間交流

半年の準備期間を経て、2年前に「ほうらい国際交流協会」が立ち上がりました。きっかけは、ただ「外国が好きだ!」ということだけでした。町役場の実施した海外派遣でアメリカを視察したとき、真の外国の文化に触れ、驚きました。規模の大きさの違い、自然と調和した生活、見かけにとらわれない自由な考え方の人々等。けれど反対に、気づかなかった日本の良さも再発見することとなりました。

この感動を若い心に味わわせたいと、仲間5人が集まり、役場のバックアップも加わって、小規模ながら会が立ち上がり、順調に行事を重ねています。1年に2度の外国料理教室には、毎回30人ほどの参加者があり、見慣れた食材の違った使い方に興味津々、早速家庭で実践しています。夏には中部jicaから数人の外国人をホームステイで受け入れ、異文化を吸収し、会話の上達を目指します。初めは尻込みしていた町の参加者も、回を重ねるごとに少しずつ慣れてきました。すると、不思議なことに、自分の町を自慢したいという気持ちも起こってきます。外国人が、自分の国をとっても誇りに思い、愛しているように。

今年は愛知万博の関係で、フレンドシップの相

手国エチオピアと親密に交流するチャンスが与えられました。1月30日には、町と交流協会のタイアップで「ほうらいエチオピアデー」を開きました。この会に先立ち、日本人と結婚されたエチオピア人エレニさんを招いて料理を教えてくださいました。会の前日にもエレニさんが駆けつけてくださり、交流協会の仲間とエチオピア料理を作ってくれました。

30日は、エチオピア大使夫妻を始め、17人のゲストを招いて町民約200人と交流しました。講演会、エチオピアダンス、エチオピア人によるコーヒーセレモニーなどの行事とともに、エチオピア料理を満喫しました。

本番当日は、ぱっと花火のごとく終わってしまいましたが、今回のイベントを行うにあたり、わからないことだらけなのを執念深く追求し、スタッフは東奔西走しました。

一つの目標に向かうとき、ネットワークの重要性を痛感し、ありがたさも身にしみました。国際交流に加えて、人と人の人間交流ができたことが何よりの喜びとなって還ってきました。

さて次は、万博でのナショナルデーへの参加です。みなさんも一緒に走りませんか？



ほうらい国際交流協会 (ICEの会)

代表者 : 峰野 恵子
活動場所 : 南設楽郡鳳来町
連絡先 : 鳳来町富栄字外貝津
TEL : 0536-32-2428
090-2132-3999

作手村の自然を楽しむ会 ～ N.F.T. ～

2000年の夏、作手村の教育委員会が主催する植物教室の講師・権田昭一郎先生のもとに自然好き人間が集まり、話し合いの場を持ちました。作手の自然をもっと知りたい、もっとしっかり楽しみたい、だから作手の自然を残したいという共通の思いを持った者同志、始めはたった5人の集まりでした。月に一度の会合を重ねて、冬が始まる頃には「ネイチャー・フォーラム・in・ツクデ」(略してN.F.T.)が誕生しました。

活動を始めるとあって決めたモットーは「自然観察を楽しもう」でした。まずは身の周りの自然を楽しく勉強していこう、知識と経験を積み重ねた上で自然を守る活動への足掛かりにしようと考えたのです。以来、月に1回程度の活動をしています。山菜を採集して料理をしたり、村内の老木・巨木を見て廻ったり、冬は室内で椿の花を描いてみたりと色々な事をしてきました。気軽にハイキング気分自然を満喫する事があれば、真剣な眼差しで自然を見つめる時もあります。様々な形で自然と接して、その不思議さに感動したり、人間の身勝手さを痛感したりして、ますます自然を守っていかなければという思いが強くなりました。

N.F.T.では2002年から作手村教育委員会主催の自然観察会で講師を務め、一般の参加者に自然と触れ合う楽しさを伝えていこうと試みています。また、作手村の花であるサギソウが縁で知り合った、宮崎県高鍋町の私立南九州大学教授の山本友英氏の誘いで、「湿原の動植物に関するフォーラム」に参加したりと活動は幅広くなっています。

2003年にはN.F.T.のメンバーが中心となって、「清岳向山湿原を守る会」という名の自然保護活動を行なうボランティアグループを立ち上げました。今後は自然観察と自然保護活動をどのように両立させていくのかが私達の大きなテーマになっています。



ネイチャー・フォーラム・in・ツクデ

代表者 : 内藤 信司
活動場所 : 南設楽郡作手村
連絡先 : 作手村清岳字向山
TEL : 0536-37-2973

子育て支援の研修会を通して

みんなで子育てをしよう！



福田 利恵

連絡先：自宅

TEL・FAX：0536-32-2735

子育てネットワークあいち三河は、毎年、総会を兼ねての全体研修会2回と、東三河・西三河・新城設楽・豊田加茂の4地区に分かれて、講演や実技研修を考え、会員全員に案内をします。この研修会は、自由参加です。また、研修会の時には、参加した地域の活動状況を連絡しあっています。

今年度は、文部科学省から「家庭教育支援総合推進事業」の委託を受けることになりました。これによって、専門的な知識を持つ講師をお呼びして、「子どもの心について」「子どもと関わるボランティアとして」「ボランティア活動の心得と継承」「人形劇公演と実技指導」「野外炊飯とゲーム」について研修をしました。どの研修会も、子どもの気持ちや発達をよく理解した上で、子どもと関わっていく大切さを分かりやすく話してくださいました。今後も研修を重ねながら、地域活動を進めていきたいと思っています。

子育て情報発信のネットワークをめざして

世間で核家族、少子化が聞かれ始めた頃、「なかよしサークル」は誕生しました。H3.9に乳幼児を持つ母親が「子どもの遊び場と友達を作ってやりたい」と集い、元保母の私に保育の依頼があり、現在に至っています。H7年度の子育てネットワーク養成講座受講。この頃サークルは参加者が増大し、井戸端会議状態でした。講座では「お母さんを育てて下さい」というヒントから、母親主体のプログラムとリーダーを育てることで危機を乗り越えました。H15.9.6には12周年を祝い、音楽会と食育の話で健康の大切さを伝えました。現在は、会員数減少と考え方の多様化でリーダーの負担が増えることが難問です。H16年度子育てネットワーク尾張北主催「子育て応援団講座」と、「おわり子育て広場」では尾張子育て支援センターの先生方と一緒にスタッフとして活動しました。難問解決の糸口として、知識の向上とネットワークの交流が不可欠です。今後も新情報を発信できるよう努力していきます。



山田 夕起子

活動場所：瀬戸市本地会館

連絡先：自宅

TEL：0561-83-6288

松井 哲士(まつい てつし)さん

あいち生涯学習インストラクターの会会員、KT法クライアントインストラクター、ライフプラン研修コーディネーター、社員教育トレーナー、中日氣功研究所普及員。企業での人材育成に力を注いできた口調は、静かだが力強く説得力がある。始めて十数年になる気功をさらに普及していきたいという。



生涯学習を始める動機やきっかけは、

松井:最初のきっかけは、昭和56年頃の不況当時に間接人員の削減をKT(ケブナー・トリゴ)法を活用して問題解決に当たったことにあります。その際に日本KT社のクライアントインストラクターの資格を取得しました。

次に、人材開発部長として各種の研修教育において人材育成に携わったことが2つめのきっかけでした。

また平成5年以降にソフト開発部隊の利益創出体制づくりと含み損のない社員づくりを6年間携わったことがあります。含み損のない社員づくりとは、ソフト開発者は仮に会社を飛び出しても一人前以上の仕事ができ、自分を活かせる社員を育てることです。この部隊は各個人がばらばらにソフト開発をしており、社員全員に同じ方向を向かせたいと思っていました。そのときにアクティブビジネス社の大西啓義さんのアドバイスが面白かったのです。「とにかく作れ、やること・やりたいことを先に出せ。それに枝をつける。幹を作って枝をつける。それをどうやるか、いつやるのか」など戦略的なものでした。

また、今やっている気功は人材開発部にいた頃、どうしたら社員が同じ方向を向けるのだろうかと考えていた時、休憩時間に呼吸法でもやろうかと思いついたので、これが気功を始めるきっかけです。現在は中日氣功研究所の普及員として活動しています。

そのほかの現在どんな活動をしていますか。

松井:毎週月曜日から金曜日までの早朝に青空気功、今朝もやってきました。気功教室の指導もやっています。それからデイサービス関連へのボランティア活動。アダプトプログラム(公共施設の養子縁組制度)へも参加しています。また、大府市の生涯学習推進会議委員として活動しています。他に婦人会や健康推進委員会での定期的な気功教室の開催などがあります。気功を活用してのボランティア活動が主体です。始めは点だった活動が、点から点に飛び、それが線になり、面になっていきました。

活動の中でめざし求めるものは何ですか。

松井:高齢化社会において80歳以上になると4人に1人は痴呆(認知症)になる可能性があると言われてますよね。だから痴呆にならないための予防が必要です。呆けや歩行困難の予備軍をつくらないことが活動の目標です。

貴方にとって生涯学習とは何ですか。

松井:「学習一生」をモットーに、気功の普及を進めています。気功の学習のためには、中国語の学習が必要なので取り組み始めました。また気功のボランティア活動には息抜きも必要なので、オカリナ演奏にも挑戦しています。

聞き手:森 勝昭(生涯学習インストラクター・センター運営支援ボランティア)

住民手作りの公民館活動 北方公民館

～一宮市～

一宮市の公民館

古くから伝統のある繊維の街として繁栄してきた一宮市には、中央公民館と16の地区公民館があります。どの地区公民館もその地域で選ばれたボランティアの方々が館長以下役員となり、公民館活動をしています。

北方公民館

北方公民館は住民の学習需要に総合的に応える日常生活に最も身近な生活学習の施設である地区公民館の一つで、市の北西部に位置する北方町の人に親しまれ利用されています。

一宮市より公民館事業として、青少年教育、成人教育、女性教育、体育レクリエーションおよび魅力ある地域づくり推進の5事業を委託され、各公民館が独自に教養講座・趣味教室・その他各種集いなどを実施しています。

青少年教育事業

16年度は、小中学生からその親までの年齢層を対象に、お菓子作り、手工芸、音楽鑑賞など11日間で9講座行いました。

成人教育事業

9月から11月に7講座開催し、巨大地震や愛知万博の講演を聴き、ハワイアンや太極拳を楽しみ、酉の木目込み人形を作りました。

女性教育事業

防犯と言葉遣いの講話、料理教室、ガーデニング、健康体操と知識と趣味の世界を広めました。

体育レクリエーション事業

心と体の健康づくりのため、ソフトボール・テニス・卓球大会など開催し、秋には公民館の最大行事、北方町民運動会を開催しました。公民館役員のほか、各町内の体育委員や子供会役員などの協力で、19種目の

競技に多くの町民が汗を流し親睦を深めました。



北方文化祭・芸能演芸発表会

11月7日の北方文化祭は、公民館の他、北方小学校を会場にして大規模に行いました。公民館に菊花、山野草の展示、小学校の教室には生花、パッチワーク、写真、絵画、書、児童の作品を展示し、屋内運動場のステージでは、琴、詩舞、合唱、カラオケなど発表しました。屋外のみたらしや魚のつかみ取りは中学生のお手伝いもありました。さらに、中庭ではPTA役員や町会長が、もちつき大会を開催し、子供にもちつきを教えながら、つきたてのもちを来場者らに提供しました。



新年走りぞめ・歩け歩け大会

走りぞめ・歩け歩け大会は元日の朝に行います。新年の風をきって元気に駆け出した健脚者の後、ウォークを楽しむ家族などがさわやかに歩いていきました。

北方町を育んだ木曾川の清流のように、その文化や伝統は時の流れとともに移り変わります。このような地域社会の形成や文化の振興に貢献し、住民の方が学習・体験し、社会連帯を深め、生きがいを模索できるよう公民館活動をしています。

生涯学習推進センターからのお知らせ

地域の大人力を結集して、子どもの居場所をつくろう

地域子ども教室推進事業

昨年度に比べて倍増の全国8,000カ所で展開します。

この事業に関してのお問い合わせは[県生涯学習推進センター](http://www.ibasyo.com/)まで
(連絡先はこのページ下に記載)

【子どもの居場所づくり】

<http://www.ibasyo.com/>

たとえば...

私の住んでいる町ではどこでやっているの？

ボランティアとして参加したいけど、どうしたらいい？

など、お気軽にお問い合わせください！

新規【週末チャレンジ教室】
週末において、子どもたちにとって、より高度で魅力的な学習活動、体験活動の機会を提供するため、地域の専門的知識や技能を有する人材を講師などとして活用する。

地域子ども教室を実施する市町村教育委員会
または
NPO法人内に
設けられた実行委員会
コーディネーターを配置して登録された人材を子どもの居場所へ派遣

【地域子ども教室】
安全・安心に活動できる場の整備
〔活動例〕
校庭で昔ながらの遊びを楽しむ
絵画制作など文化活動に取り組む
野球やサッカーなどのスポーツを一緒にする
ものづくり活動に取り組む など

学校
参加の呼びかけ
場所の提供

家庭
参加・ボランティア
登録



地域の大人たちが指導ボランティアとして協力
社会教育団体、高齢者、退職教員、大学生、PTA、
公民館、児童館、NPO、NGO、商店街などの協力



愛知県生涯学習推進センター

開館時間	9:00 ~ 21:00
休館日	日曜・年末年始
電話	052-961-5333
FAX	052-961-0232
ホームページ	http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/
メール	syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp
交通案内	地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分 基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分 駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



七宝町七宝焼アートヴィレッジ



当施設は、平成7年に「尾張七宝」として国の伝統的工芸品の指定を受け、人々に親しまれてきた「七宝焼」をテーマとした総合施設で、七宝焼の作品鑑賞、製作工程の見学、七宝焼の製作体験、各種交流イベント等により、七宝焼について「見て」「触れて」「学べて」「体験する」ことができる3つのゾーンに分かれています。

作品展示ゾーンは、七宝の名品や道具等のほか映像やパソコン等を利用し七宝の歴史をわかりやすく展示しています。特に、高さ1.5メートル、直径67.8センチ、重さ40キロの大花瓶は、特別な窯を築き大量の木炭を使って焼いたもので、現代ではとても制作できないものです。

動態展示ゾーンでは、七宝焼の職人が実際に作業を行い見学者と触れ合うことができます。ガラス質の釉薬をのせて細かい図柄を表現していく七宝焼は、陶磁器とは全く異なった焼き物であり、その精緻な技を堪能していただけます。

七宝焼体験ゾーンでは、いつでも誰でも気軽に製作体験ができます。ペンダントやキーホルダーなど1～2時間程度で完成し、その日のうちに持ち帰ることができます。

【次回企画展】

「京都七宝 並河靖之の技(仮称)」 4月29日～6月12日
内外の博覧会で数々の賞を受賞し、その功績により七宝界から初めて帝室技芸員に選ばれた並河靖之の作品を展示します。

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日・祝日の翌日・年末年始
入館料等	常設展示室 高校生以上310円 小中学生100円 (企画展示室は展覧会により異なります) 七宝焼体験教室 1000円～
電話	052-443-7588
FAX	052-443-7122
Mail	artvillage@town.shippo.aichi.jp
住所	(〒497-0002)海部郡七宝町大字遠島字十三割 2000 番地

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター
平成17年3月 8,000部発行
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 電話 052-961-5333



生涯学習のマスコット“マナビィ”